旧岡山県農学校　現高松農業高校地域向け情報誌

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 104 号
平成２８年１月１９日

発行元
岡山県立
高松農業高等学校
tel
086-287-3711
fax
086-287-3713

「一年の計は元旦にあり」

校長　安井　盛

昔から、「一日の計は朝にあり」、「一年の計は元旦にあり」と言われます。みなさんも一年の計画や目標を立てる場合、「勉強を頑張る」とか「部活を頑張る」といった漠然とした目標を立てるより、例えば、農業土木科であれば測量士補の資格を取るとか、部活で県大会や中国大会に出場するとか、或いは、鑑定競技で農クの全国大会に出場するなど、出来るだけ努力した成果がはっきりと現れる具体的な目標を立てて、継続して取り組んでもらいたいと思います。

１年生の人は、高校生活にも慣れた頃だと思いますが、車の運転と同じで、免許を取って少しの慣れた頃に、一番交通事故が多いとよく言われます。学校生活に慣れた今、さらに上を目指して努力する人と、逆に慣れたことで怠ける人と２通りに分かれます。どちらを選ぶかで、自分の将来が大きく変わってくるので注意をしてください。

２年生の人は、公職選挙法の改正により、選挙期日の翌日以前に18歳の誕生日を迎えた人は、選挙権を持つことになりました。今年の７月頃に予定されている参議院選挙に投票権を得た人は、是非選挙権を行使して投票に行ってほしいと思います。

また、あと半年で自分の将来の進路を決定する時期が来ます。今の時代、65歳まで働く人が大半を占めてきました。おそらく“超高齢化社会”と言われるみなさんの時代には、定年が70歳にはなっていると思います。そうなると、高校を卒業してすぐに就職するにしても、専門学校や短大、大学に進学したとしても、この先、50年という非常に長い期間働くことになります。その50年間どんな仕事をするかを、この半年で決めることになります。自分がやりたい仕事を50年するか、したくない仕事を50年するかは、この半年が勝負です。進路を決めるまで、周りに相談しながらしっかりと考えてください。そして、自分がやりたい仕事に就ける確率を高める方法は、やはり現実として、勉強や部活動、資格取得など、今しかできないことに全力で取り組むことだと思います。

なり３年生の人は、あと３ヶ月足らずで社会人になります。早い人は卒業式の翌日から研修に行く人もいると思います。近い将来、社会に出て働くみなさんに、「これだけできれば、仕事は絶対うまくいく。」というタイトルの本に１０１書かれている仕事のルールの中から一つ紹介します。それは「どんなときでも、嫌な顔はしない。」ということです。現実の仕事は、自分のペースでやっていればいいというものではありません。自分がある仕事に集中している時、上司から突然、別の仕事を頼まれることもよくあります。その時、ちょっとした嫌な顔でも、上司はあなたの表情をよく見ています。その瞬間、今後仕事を頼める社員か、そうでない社員であるかが決まります。

これと似たことで、ノートルダム清心学園理事長である渡辺和子先生が書かれた本の中に、「不機嫌は環境破壊」という表現が出てきます。「不機嫌な顔つきは、人の心をむしばむ、立派な環境破壊である。だから、どんなことがあっても、笑顔で生きることが一番である」と書かれています。なかなか難しいことかもしれませんが、心に留めておくと、きっと役に立つこともあると思います。

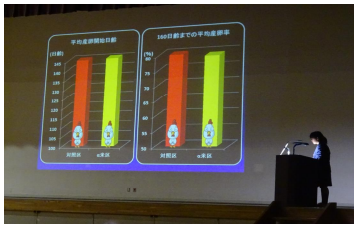
みなさんにとって、今年一年が健康で縁起の良い年になることを願っています。

◆くすのきコンサート開催◆

12月20日（日）に本校体育館を会場にして、第16回高松農業高等学校定期演奏会「くすのきコンサート」を開催しました。３年生の部員にとっては最後の演奏となりましたが、今年度の県吹奏楽コンクール高校小編成部門で金賞を受賞した吹奏楽部と、創部26年目を迎え最上稲荷夏季大祭をはじめ様々な地域のイベントで活躍している郷土芸能部が、日頃の練習成果を発揮して素晴らしい演奏を披露しました。

◆農業クラブ　校内プロジェクト発表会◆

12月16日（水）に校内プロジェクト発表会が開催され、３つの発表区分に９チームが出場しました。発表題目及び審査結果は次のとおりです。各区分で最優秀賞になった発表は、来年度開催される県のプロジェクト発表大会に学校代表として出場します。高松農業高校の代表として活躍が期待されます。



〔区分：Ⅰ類　生産・流通・経営〕

◎最優秀賞

「食料自給率向上プロジェクト」

２Ｚ　久保田真理　板垣のぞみ　林義成　古田みなみ　虫明弥世

○優秀賞

「植物工場の新設に向けて　―色素増感型太陽電池の研究―」

２Ｈ　西山啓太　小西千絵　氏峰実稔　山口奈弥　平田和佳奈　森下真帆

「イチゴの早期収穫と糖度向上の研究」

３Ａ　小野和希　林幸斗　前原大樹　三笘和真

「ＬＥＤ照射によるブドウの果粒肥大に関する研究パート５」

３Ｈ　江草寧浩　江原万瑠太　前原聖也　磯村真人　大源紗南

〔区分：Ⅱ類　開発・保全・創造〕

◎最優秀賞

「畜糞を活用したエネルギー資源供給プロジェクト」

２Ｚ　森本悠莉　井上雄斗　坪井哉志　佐々木智礼　山本涼太郎

○優秀賞

「菓匠～科学と技の共演～」

２Ｆ　下山虹音　平松智和　藤森祐也　藤原妃那　古市朋也　和田俊就

「再生可能エネルギー活用社会実現を目指して　岡山市高松地区の小水力発電ポテンシャル調査」

２Ｅ　井原直将　同京大地　小野達哉

〔区分：Ⅲ類　ヒューマンサービス〕

◎最優秀賞

「地域の自然をバトンでつなぐ　～小学校との環境交流学習～」

２Ｅ　武田莉奈　西山美優　２Ｈ　守屋綾音

○優秀賞

「エフカ・ド・カフェ～シーズンⅢ～」

２Ｆ　赤木里奈　葛原千聖　鈴木佑奈　宮田亜美紗

◆ESD Cafe URA 2015へ参加◆

12月23日（水）に岡山国際交流センターで開催されたESD Cafeへ「高農環境考える会」が参加し、絶滅危惧種「スイゲンゼニタナゴ」の保護活動に関する取組を発表しました。この会は、こくさいこどもフォーラムと岡山ユネスコ協会が主催し、ＥＳＤ活動の一つとして、外国文化の理解や日本（岡山）の良さの再発見などをとおして、グローバル社会で活躍する人材の育成を目的として開催されました。地球が抱える様々な課題について他の団体と意見交換する有意義な会となりました。

URA：Understanding Respect Acceptance
（理解し、尊重し、受容する）

１月の行事

19（火）各種委員会
　土木企業説明会（Ｅ科）
20（水）Ａ科研究発表会（③～⑥）
　農ク全国大会第１回生徒実行委員会
21（木）薬物乱用防止教室（１年）
　Ｆカド・カフェ
22（金）Ｈ科研究発表会（③～⑥）
　Ｅ科研究発表会（⑤～⑥）
　実用英語検定
26（火）～ 29 日（金）卒業考査（３年）
27（水）酒造会社現場実習（Ｆ科）
28（木）果樹社会人講師（Ｈ科）
29（金）第４回高農夢みらい塾

２月の行事

1（月）Ｆ科研究発表会１日目（①～⑥）
　加茂幼稚園訪問（家ク）
2（火）Ｆ科研究発表会２日目（①～④）
　Ｚ科研究発表会１日目（①～⑥）
3（水）Ｚ科研究発表会２日目（①～⑥）
4（木）先輩を囲む会（１・２年）
　フラワーアレンジメント社会人講師（Ｈ科）
5（金）漢字検定
8（月）農ク全国大会実行委員会
10（水）庄内幼稚園訪問（家ク）
　第４回 PTA 役員会・評議員会
　人権教育保護者･教員研修会
12（金）庄内保育園訪問（家ク）
16（火）～ 17（水）特別入学者選抜
※ 15 日（月）～ 20（土）生徒登校禁止
23（火）３年登校日
　就農予定者激励会
23（火）～ 29（月）学年末考査
29（月）卒業式予行・同窓会入会式
　寮退舎式
3/1（火）卒業式

※　Ａ科:農業科学科　Ｈ科:園芸科学科　Ｚ科:畜産科学科　Ｅ科:農業土木科　Ｆ科:食品科学科